

事務所だより



第76号

発行

黒崎合同法律事務所

 北九州市八幡西区黒崎三ー七アースコート黒崎駅前BLDG. 4F
 電話■093(642)2868・FAX■093(642)2856

 明けまして
 おめでとうございます

石破政権が終焉を告げ、高市政権が発足しました。高市政権においては、まるで政治とカネの問題には裨が濟んだかのような人事がなされています。さらには、自国優先、排外主義的な姿勢も見取れます。北九州市においても、「にこにこ給食」に対し、ムスリム対応給食であるとの誤解に基づく批判が殺到し、教育委員会が説明を行った事件もありました。

少子高齢化社会において、外国人との共生は欠かせません。どうか、外国人であることを理由に差別することのない社会が醸成されていくことを願ってやみません。

二〇二六年 元旦



外	事務局長	原田 博之	事務局長 一同
弁護士	田邊 匡彦		
弁護士	横光 幸雄		
弁護士	東 敦子		
弁護士	溝口 史子		
弁護士	平山 博久		
弁護士	三苫 和喜		
弁護士	安部 千春	(顧問)	

高市政権で暮らしと 平和は守れるのか？



弁護士
横光 幸雄

◆衆議院・参議院 過半数割れ

昨年の参議院選挙で自公政権が過半数割れになり、一昨年の衆議院選挙でも過半数割れだったため、国会の両院で自公は過半数の議席を獲得できませんでした。この結果、石破内閣総辞職、自民党総裁選で高市氏勝利、公明党の連立離脱、維新の会との連立と進み高市首相の実現となった訳ですが、高市政権で国民の暮らしは守れるのでしょうか。

◆選挙公約

自民党は参議院選挙で、物価高騰の対策として給付金の支給を提案し、野党は消費税減税を提案していました。これについて高市氏は、給付金の支給は国民の理解が得られなかったので実施しない、消費税は安定的な税収なので減税

しないとのこと。では物価対策はどうなのでしょう？食料品を含む生活必需品の軒並みの値上がりで苦しむ国民にとって、ガソリン税暫定税率廃止と子ども手当で2万円支給くらいでは、物価対策として不十分なことは明らかです。初の女性首相誕生とはしゃいでいる場合ではないのではないのでしょうか。

◆賃上げ

労働者の賃上げが物価高騰に追いついていないことは従来から何度も指摘されてきました。大企業の労働分配率が2012年度は53・4%であったの2024年度は37・4%に急降下している。一方でこの12年間で大企業の純利益は4・6倍、株主配当は2・8倍、内部留保は200兆円以上増えて561兆円になっているとのこと。働く人が生み出した富が賃上げに回されず、株主への配当と

大企業の溜め込みに流れていることは明らかで、内部留保金の課税等も含め富裕層への課税強化こそ必要です。

しかし高市氏は「労働時間規制緩和の検討」を厚労省に指示したとのことで、検討の方向が賃上げとは真逆の方向に向いているのではないのでしょうか。

◆軍事費

トランプ大統領は日本に対し国民総生産（GDP）比3・5%の軍事費負担を要求していますが、昨年10月28日の日米首脳会談で、高市氏は独断で「防衛力強化と防衛予算増額に取り組み」と表明しました。それだけではなく、トランプ大統領をノーベル平和賞に推薦すると持ち上げました。

しかし、軍事費に回す予算が増えれば暮らしに回す福利厚生予算が減らされ国民の生活が苦しくなることは自明の理です。アメリカ

の言いなりになるだけでなく、卑屈に迎合するような態度で国民の暮らしと平和が守れるのでしょうか。

◆新しい戦前

タモリが「新しい戦前になりつつあるような気がする」と発言をしたことがありました。

高市政権が進めようとしているスパイ防止法制定などは、戦前の治安維持法に似て、政府に反対する者を敵国のスパイだとして取り締まり、民主主義の基本である国民の自由な意見表明を制限する危険が高いと思われます。

私の父母は戦争の真っただ中で生活し、父親は兵隊にとられて出征していましたが、若い頃の私は、父母がどうして戦争に反対しなかったのか不思議に思っていました。

戦争は、爺さん世代が仕掛け、父親世代が道を敷き、孫世代が前線に立つと喝破した人がいます。

私は、前線に立つ孫の姿など想像したくはありませんが、高市氏はどうな意思を持って政権を荷っていくのか注視して行きたいと思っています。

外国人Aさんと 私の弁護活動



弁護士 東 敦子

やっと長かった夏が終わったなあと思っていた頃、10年以上ぶりに外国人の刑事事件が当番できました。

えっ？通訳さんに連絡しなきゃ、何で逮捕からしばらくして連絡きたの？と戸惑いながら、天を仰いでいたところ、私がアクションを起こす前から、捜査担当者から直接連絡は来るし、大使館に連絡してねと言われるし・・・ご本人に警察署に会いに行く前から事件の全体像はわかりました。外国人のAさんは間もなく日本か



ら母国に帰るというタイミングで「万引き（洋服）」をしてしまったのです。

はじめて会った日、Aさんの話はつじつまがあいません。私は「ああ、怖いんだな。そりゃそうだよな。日本で捕まって日本の刑事制度も知らないし、いきなり刑務所に行くかもしれないって不安なんだな」と思いました。通訳さんの協力を得て丁寧な話をし、1時間ほどたったところで、「ところでこの洋服好き？あなたはファッションが好き？」と聞くと、とても好きだと。そしてAさんは「ごめんなさい。悪いことをしました。弁護士さんは私を息子だと思って助けてくれますか？」と言いました。私は「もし、私があなたの母親だったら、私はこんなことを息子がしたら悲しいよ」と伝えると、Aさんは「本当にごめんなさい」と涙を浮かべました。

めんなさい」と涙を浮かべました。

Aさんが素直に犯罪行為を認めたので、そこからも大忙し。Aさんが持っていた外貨の宅下げを受けて、銀行に行つて「円」に換えて、弁償して・・・余罪もあったので警察に教えてもらうたびに連絡をとって被害店舗に弁償して・・・全部弁償できたときは、私自身も達成感がありました。再び、Aさんに面会に行き、お店の人たちの言葉を伝えました。

「慣れない日本でストレスがたまつたのかしら」「もう二度としないでね」など。Aさんは泣いていました。あとで検察官に聞いたところ、「日本の人たちは優しい。悪いことをした自分のことを心配してくるなんて」と感激していたそうです。ちゃんと伝わったんだと思いました。お店の保安員の方は「あのまま万引きがばれずに帰国してたら、あの人の人生はよくなかったと思う。きつとまた失敗する。今回のことは心を入れ替えるきっかけになったと思う」と言われました。

外国人の事件も日本人の事件



もやるべきことは変わりません。ちゃんと悪かった自分のことを振り返ることが大切で、二度と犯罪をさせないために短い時間であっても周囲が働きかけること、声掛けすることが大切なんだと思いました。出来心やバレなかったらいやという安易な動機はどの国の人にも共通です。

無事に釈放されて、帰国の途につく前日、私は被害品を買い取ったレシートをもってAさんに会いました。Aさんは私に「弁護士さんは神様です」と言いました。釈放された喜びはわかりますが、私はAさんの「お母さん」という立ち位置から急に「神様」になつてしまい、苦笑いです。母国に戻っても今の気持ちを忘れずにがんばってほしいです。



太宰府天満宮

観光案内

弁護士 溝口史子



11月某日、他県の弁護士との交流会で、太宰府天満宮の観光案内を担当しました。

私にとって、太宰府天満宮は、こどもの頃から行事のたびに訪れるなじみの多い場所でした。大人になって歴史、由来等を調べてみると、新しい発見がいろいろありましたので、ご紹介させていただきます。

① 由来

太宰府天満宮は、平安中期の学者であり、政治家であった菅原道真公(845年生〜903年没)を祀る神社です。道真公は、宇多天皇の時代に重用され、醍醐天皇の時代に右大臣(左大臣に次ぐナンバー2)の職位に就きました。ところが、摂関政治の中、道真公が力を持つことをおそれた左大臣藤原時平の讒言により、901年に道真公は大宰府へと左遷されました。大宰権帥という官職はありましたが、実権も俸給もなく、道真公は失意の下、903年に亡くなったそうです。

道真公亡き後、都で天変地異が続き、道真公の左遷に関わった人物が、



最も古い神牛像

② 臥牛

道真公が亡くなった後、現在の天満宮本殿のあたりで、遺体を乗せた牛車(牛車)が足を止めて動かなくなり、従者がこれ(神)のお告げであると考える、この場所(道真公を葬ったと言われている)に、このときの様子を表す「臥牛」の像は境内に11体

もあるとのこと。三橋手前の像が一番有名ですが、実は、楼門の右脇にある臥牛が一番古く、1805年に造られたもの(だ)そうです。訪れた際には、ぜひ探してみてください。

③ 心字池・三橋

参道を抜けると、「心」という字を模して造られた心字池と、これに架かる三橋があります。この三橋は、手前から過去橋(太鼓橋)、現在橋(平橋)、未来橋(太鼓橋)と呼ばれ、「三世一念」を表し、渡ること(心)が浄められると言われているそうです。私がこどもの頃は、「過去は振り返るな、未来で転ぶな」と言われ、渡るときにとっても怖い気持ちになったものです。

ところで、この三世一念の思想は仏教に基づくもので、神仏分離令まで太宰府天満宮が神仏習合の神社(安楽寺太宰府天満宮)であったことの名残なの(だ)そうです。

④ 本殿

現在の天満宮本殿は、戦国時代に焼け落ちたものを、1592年に豊臣秀吉が小早川隆景に命じて復興したもので、桃山時代の建造物の特徴である朱・黒漆、金箔が用いられ、欄間にも透かし彫りが施された、豪華・絢爛な建物です。…が、残念



仮殿

ながら、現在は改修工事中(2027年頃まで)のため、本殿を観ることはできません。

その代わり、工事期間中、仮殿に参拝することができます。

仮殿は、大阪・関西万博のデザインプロデューサーを務めた藤本壮介氏がデザインしたもので、アーチ形の屋根に数十本の植物が植えられています。今だけの楽しみとして、仮殿を拝観するのもお勧めです。

⑤ 飛梅

最後に、飛梅のご紹介です。飛梅は、道真公が大宰府に赴く際、道真公を慕って、京から大宰府へと一晩で飛んできた(と)伝えられる梅です。現在見ることが(できる)梅は、この飛梅の子孫にあたる梅(だ)そうです。

飛梅前に立つ看板は「鳥点の筆法」で書かれたもので、飛梅の文字の中に鳥の姿を見つ(ける)ことが(でき)ます。何羽いると(感じる)かは、見た人次第(だ)と(か)。

飛梅は、本来本殿右脇にあるため、現在は仮本殿の影に隠れていますが、ぜひ見付けて(くだ)さいね。

大事にしている物がありますか

弁護士 平山 博久



皆さんが手元持っている物の中で、長年使っているとか、特に大事にしている物がありますか。

私が、北九州市に住むようになって20年以上が経過し、1度引っ越しした際に、不要なものは処分したこともあって、今自宅にあるもので長く使っているものは何だろうと思い、調べてみました。

― 革製品 ―

弁護士登録した2004年頃にブーツを買いました。

それまでブーツをはじめとする靴類を買っても、履きつぶした後、処分しており、ソールを交換したり、修理をして履き続けることは一度もしたことがありませんでした。

しかし、このブーツのみ、長年の使用によりソールがすり減ったため、ソールを交換して、現在も使っています。



革製品に対する知識がなく、ジャブジャブ丸ごと水洗いをする、どのような影響があるかわからないため、革製品用のクリーナーやデリケートクリーム類を塗って、メンテナンスをしています。

最初は、履くのが痛いくらいガチガチだった革もしなやかになり、また、長期間使用し、また雨でも履いていたため、傷やひび割れも起きつつあります。それもエイジングによる味だと思つて、楽しんでいます。

それを見てか、長男も革製品が好きになったようで、革を巻き付けて収納するタイプのペンケースを大事に使っています。

― 調理器具 ―

(1) パスタ鍋

私は、修習生の時に結婚し、その時の結婚祝い指導担当の方からパスタ鍋セットをもらいました。

パスタ湯きり用、野菜ゆで用のなかごのセットで、鍋単体としても使えて、色々な場面で活躍してくれます。今も使っており、我が家で一番長く使っているものがこれでした。

思い入れもあり、使用頻度も高く、酷使しているのに、今もピカピカ輝いており、使っていて気持ちが良い製品です。

(2) IHクッキングヒーター

これも2009年に購入して、16年使用しています。

焼き肉用グリル、お好み焼き用平面プレートの付属品がセットになっていて、焼うどん、お好み焼き、パエリア、もつ鍋等各种鍋を作るときに、常にこれがテーブルの中央にあります。当然、後発の新製品の方が性能が良いとはわかってい



能が良いとはわかってい

― 最後に ―

今回、ふと思いついて、自宅で長く使っている物を探してみました。

長く使用している製品でパツと思いつくのは、家電製品（冷蔵庫、テレビ、洗濯機）等のイメージだったのですが、確認してみると、一番長いのは消耗品の類に入るものを長く使ってきたことが分かりました。

消耗品をメンテナンスしながら長年使うことで愛着もわきますし、その製品の良い所、悪い所も見つかりますし、その悪い所が可愛く見えたりすることもあります。

また、その製品を使うようになったのが、何歳だった？家族構成はどうだった？どこに住んでいた？どこで買った？誰からもらった？何に使った？それをもつてどこに行った？等を思い出すことで、普段は思い返すことがない、当時の懐かしい記憶を思い返すことができます。これからも物を大事にしていこうと思います。

九弁連大会(宮崎)に行つてきました

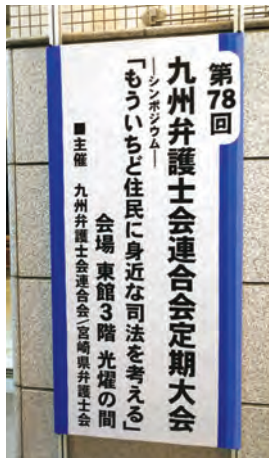


弁護士
三 苫 和 喜

弁護士は、弁護士法に基づき設置された、日本弁護士連合会(日弁連)と原則として地方裁判所所在地ごとに設置される弁護士会(福岡県であれば福岡県弁護士会)に所属することが決められています。その他に、高等裁判所所在地ごとに設置される連合会が存在し、九州には、九州弁護士会連合会(九弁連)という団体も存在します。

九弁連では、年に1回の定期大会を行ったり、各委員会を設置し、九州各県での情報交換・連携を行ったりしています。私は、今年度から九弁連主任という名の雑務係を仰せつかっています。また、子どもの権利に関する連絡協議会の委員として年に4回程度、九州各県の弁護士との協議会に参加しています。

年に1回開催される定期大会は、



「九弁連大会」と呼ばれ、各県持ち回り(九州各県+北九州)で開催しています(北九州では、令和4年に開催されました)。今年の定期大会は、10月末に宮崎で開催されました。九弁連主任の仕事として、九弁連大会での役割が与えられており、私も参加しました。

実は、私が唯一九州で訪れたことがない県が宮崎でした。黒崎からは、一日に一往復だけ走っている、JRの「にちりん」にのれば直通であることは知っているのですが、4時間50分ほどかかります。小倉から新幹線を利用すれば東京まで行ける時間です。遠さもあり、なかなか宮崎に行く機会はありませんでした。

仕事がつきかたでしたが、理事会・大会と2日間に分けて開催されるので、2泊3日の予定です。1日目は午後に着し、15時から会議、2日目は朝から定期大会と予定は詰まっていたのですが、少しくらいはご当地の食べ物を食べる時間があれば…と思います。宮崎に向かいました。

今回は、飛行機を利用して行きました。出発時点での福岡空港は快

晴、気持ちいいフライトになるのでは、と思いましたが、なんと小さいプロペラ機。離陸の時点からよく揺れてくれました。離陸後は水平飛行の時間はほとんどなく、すぐに着陸態勢に、というアナウンスが流れます。高度を下げるのとみるみる天気は悪くなり、雲を抜けると雨が降っていました。荒れた太平洋を眼下に、上下左右に揺れながらの着陸です。体感的にはものすごいゆっくりなスピードの着陸で、飛行機好きではあるものの、墜落するのでは?とおびえながらの着陸でした(当然、無事に着陸しました)。

飛行機が(揺れながらも)定刻で到着してくれたおかげで、1時間程度食事をする時間が取れそうでした。ホテルで近所の食事屋さんを尋ねると、「おぐら」というチキン南蛮が有名なお店を紹介してくれました。徒歩10分程度でしたが、何とかいけるかも、と思い、ホテルで傘を借りて向かうこととしました。

迷うことなく無事にお店に到着し、チキン南蛮ライス付きを頼むと、テーブルに置かれたのはなんとお箸ではなくナイフとフォーク。え?定食のつもりで頼んだんだけど?と思いつつ、鶏肉を待っていると、鶏肉の一枚肉にタルタルソースを大量にかけた一品が到着しました。なるほど、だからナイフとフォークな



のか、と感心しつつ、めちゃくちゃ量が多いことから食べきれない不安になりながらの想定外の大食いチャレンジをすることになりました。食べてみると私の知っているチキン南蛮とは違い、タルタルソースも粘度が低く甘酢感も強くありませんでした。これが本場のチキン南蛮か、と感動しながらも、途中からは本当に食べきれないのか?と思いつつ、食べ続けていました。何とか食べ終わりましたが、想像以上の量だったために、会議の時間まであまりなく、食後に小走りですぐホテルまで帰ることにしました(無事に間に合いました)。

会議や定期大会も無事に終わり、宮崎での仕事も問題なく終了しました。最終日には宮崎の街の散策がてら、ホテルから宮崎駅まで歩いてみて、宮崎を感じることができました。お土産も購入し、やっと九州を制覇できたという充実感を感じながら帰ることができました。

来年の定期大会は、大分で開催されることと、大分市には行ったことがないので、また来年を楽しみにしようと思います。

**弁護士 田邊 匡彦**

今年は事務所創立45年この間に裁判の進め方もずいぶん変わりました。和文タイプや複写紙に手書きだった書面がワープロ、パソコンでの作成に変わっていき、裁判所に行かなければ裁判手続きができなかったのに、電話会議ができるようになったと思ったらWEB会議が主流となり、裁判所に行くことが少なくなりました。今年からは、訴状の提出はWEB上で行わなければならない、証拠もWEB提出が原則となります。何とか置いて行かれないように研鑽して弁護士活動続ける覚悟ですので宜しくお願いします。

弁護士 横光 幸雄**「天国と地獄」のころ**

俳優、山崎努の回顧録を読んだ。黒沢明監督の映画「天国と地獄」（貧困の若者が大富豪の家庭の子供を誘拐して身代金を得ようとした事件）の誘拐犯役に抜擢されたころの彼は、犯人と同じでバラック小屋に住み世の中の不条理を感じながら、山の上の高級住宅を眺めていたとのことである。今東京では億ションが林立しているが、億ションの下の方隅の住人は山崎と同じように高くそびえ立って富裕層が暮らす億ションを見ているのではないだろうか？

異様な株価高騰が続いている昨今であるが、これが日本の実体経済を反映しているとはとうてい考えられない。バブルはいつどんな形で崩壊するのか。あるいは軍事産業を拡大させて続いていくのか。

格差と分断が広がれば個人の自立を前提とする民主主義は崩壊の危機に瀕する。

民主主義か独裁主義か、あるいは全体主義か。その土台となる経済体制も含め、激動の時代が近づいているように思う。

今年は眼を大きく見開いて世の中の動きを注視して行きたいと思っている。

弁護士 東 敦子

新幹線で移動中に隣の席の女性と、ふとしたきっかけで会話がはじまり、「朝3時から起きて御園座に行ってきたのよ」と。御園座はその女性の「推し」の座長公演があった劇場の名前でした。それから、推

し活の楽しさや推しへの愛を語ったくださり、気づいたら2時間。「ああ、楽しかった。よかったらこれどうぞ！2個選んで！」と言われ、ありがたく頂戴しました（写真）。私が鉛を差し出すとうれい！これは役立つのよ」といって笑顔。またどこかで会えるといいな。今年も一期一会がありますように。

**弁護士 溝口 史子**

昨年夏の事務所だよりで、映画鑑賞を趣味にしたいと宣言(?)しました。ところが、昨年上半期は映画を定期的に観ていたものの、下半期はぱったりと途絶えてしまい、現在はお休み中です。映画自体は面白いのですが、それ以上に2時間の時間を作ることに億劫さを感じてしまっているのがその理由です。

それなら、「目が疲れる」なんて言わず読書に回帰するか。それとも、全く手を出したことがない何かにチャレンジするか。趣味探しの旅は今年も続きます。

今年もよろしく願いいたします。

弁護士 平山 博久

昨年、長男が成人年齢18歳になりました。

振り返れば本当にあっという間でしたが、まだ完全に独り立ちにはできませんので、引き続き見守っていきたいと思います。

また、今年の3月には二男の中学校のバスケットボールの部活引退式があります。親族参加型の引退式なので、この2か月で体を鍛えて、オールコートで走り回り、レイアップシュートできるくらいの体力をつけようと思います。

子どもたちが、自身の目標を持って夜遅くまで机に向かう姿は、彼らが園児の頃には想像していなかった姿です。それを見て彼らの成長を実感するとともに、自分も成長したいという気持ちになります。

生活環境が大きく変化する年になりますが、お酒の飲みすぎや健康に留意して、飛躍できる年にしようと思います。

弁護士 三苫 和喜

昨年の抱負を見ると、御朱印集めとクラシックコンサートに行ってみたくて書いていました。なんと、どちらも全くしていません！（笑）

簡単そうな目標すら達成できていなかったことに驚きを隠せませんが、今年こそ、御朱印集めとクラシックコンサートに行ってみたくて思います。ちなみに、トレーニングは週1回程度行っていて、これだけは達成できています。



弁護士 田邊 匡彦

一口法律相談

養育費関係改正について

養育費支払いを受け易くするための法律改正がされたそうですが、具体的にどのように変わるのでしょうか？



1 施行時期について

令和6年5月に成立した養育費関係の改正は、離婚後の父母双方に親権を認める共同親権の実施と同時に令和8年4月1日から施行されることになりました。

2 養育費の先取特権化について

これまでは、父母の間で養育費支払いの取り決めをしていても、別居親が支払いを怠ったときには、調停調書、判決、公正証書等の債務名義がないと差押えができませんでした。今回の改正で、養育費が先取特権（優先的に差押えができる権利）とされました。施行後は、取決め書面さえあれば差押えの申立てができるようになります。但し、先取特権が付与される養育費の限度額法務省省令案では子供一人当たり月額8万円までとするとされています。実際の執行額は、合意額が法務省令で定めた額の低い方になります。

3 法定養育費の制定

なお、改正法施行前に養育費の取決めがされていた場合には、施行後に生じる養育費に限ってこの改正法が適用されます。これまで、父母の協議や家庭裁判所での調停・審判等で養育費の額を取決めなければ、養育費を請求できませんでした。しかし、改正法では、養育費の取り決めがなくても、①離婚時から協議成立又は審判で養育費の額が定まった日又は②子が18歳に達した時まで、毎月末日限り「法定養育費」を請求できるようになりました。法務省令では子供一人当たり月額2万円とされています。

4 請求を受けた側の減額請求について

法定養育費の請求を受けた者が支払い能力を欠くために養育費を支払うことができないことやその支払いをすることによって自らの生活が著しく窮迫することを証明した場合は、全部または一部の支払いを拒むことができます。家庭裁判所は、このような証明がなされた場合、義務者の支払い能力を考慮して法定養育費の全部または一部の支払いの免除または猶予その他の処分を命じることができ、病気や失業等のため経済的に苦しい状況にある相手に対しては法定養育費であっても支払いを受けられない場合があります。

相談は事前予約をおねがいします



月曜日 午前10時00分～午後7時30分まで
火曜日～金曜日 午前10時00分～午後5時30分まで
土曜日 午前9時30分～午前11時00分まで
(土曜日は、金曜17時まで予約の方のみ)

日曜・祝日はお休みです

相談予約受付時間

平日(土・日・祝日を除く)午前9時から午後6時までにお電話下さい。

法律相談(初回30分)を無料にしました

☎ 093-642-2868

受付はWEBでもできます

<https://kurosakigoudo.jp/>